

週日の説教

金 大烈 神父 2011年7月15日(金)

《一番大事な“変わらない命のために”何をしているか》

誰にでも大事な人がいて、大事なものとかが大事なことがあります。そして、その大事なものの大事なことと思っている中にも、より一層大事なことがあります。最も優先的に、もっと大事にしなければならないものがあるわけです。

さあ、皆様にとって「一番大事なこと」とは何でしょうか。「より大事なこと」ではなくて「一番大事なこと」は何でしょうか。

率直に言えばそれは「命」ではありませんか。「命」、死んで亡くなってしまうこの「命」でしょうか。それももちろん一番大事なことも知れませんが、しかし、私が今日申し上げる「命」は、死んで亡くなるこの世の中にある「命」とはちょっと違います。それは「永遠に変わらない命」です。その「命」、イエス様が今日あなたにとって一番大事なことは何であるかよく分かっていながらも、「なぜ一番大事なことのために頑張らないの」と私達に話しているかも知れません。

よく考えてみましょう。本当に一番大事な「変わらない命。」去ってしまう命ではなくてイエス様によって説明された、そういう「命」のために私達はどのくらい頑張っているのでしょうか。「祈りをしています。」「主日のミサに与っています。」「たまには優しさを見せなくてはならなくて頑張っています。」「しかし、そのくらいではちょっと足りないのではないのでしょうか。

今日の福音(マタイ 12・1-8)を通して一つだけもう一度考えてみましょう。私達には生きる目的とかさまざまな事柄がありますが、一番大きい目的は“変わらない命”を得ることだと思います。その命のために、私はどのくらい心を尽くして全力尽くしてやって来たかを考えてみたら、「私は反省するところはないです。」と言える人はこの世の中には一人もいないと思います。

皆様、私にとって一番大事なものは「家族です。」「愛です。」「関わりです。」「お金です。」と、色々言うことが出来ると思いますが、そのもっと上にそれが何のために大事であるかと良く考えてみますと、結局“永遠に変わらない命”へと至るのではありませんか。

皆様よく考えましょう。「私“変わらない命”のために何をしているのか」と。

ありがとうございました。